

# 地震当日に配布された特別夕刊(4面仕立て)

北國新聞 2007年10月23日(土) 10月23日

## 能登で震度6強

### 1人死亡 負傷100人超

特別夕刊

県内の主な震度

M6.9 県内過去最大級

輪島で25戸全壊

震度5級余震の可能性

官邸に対策室



北國新聞 2007年10月23日(土) 10月23日

## 能登空港 全面閉鎖

### 滑走路にひび割れ

93年の10-20倍の強さ  
同じ新層が大きく動く?

JR、全線で  
運転見合わせ

情報収集 怒号の指示

県が災害対策本部会議

七尾の震度情報入電せず 断電

緊急援助隊 羽根入派遣

外国通信社も速報



# 日曜の朝 地響き襲う



志賀原発、放射能漏れなし 七尾火電が自動停止

一時、3万5千戸が停電

## 七尾で液状化現象

## 土蔵や民家倒壊 穴水

## 国道通行止の



【高松市】高松市志賀原地区で、地震発生後、放射能漏れが確認されなかった。また、七尾火力発電所が自動停止し、一時、3万5千戸が停電した。高松市志賀原地区で、地震発生後、放射能漏れが確認されなかった。また、七尾火力発電所が自動停止し、一時、3万5千戸が停電した。高松市志賀原地区で、地震発生後、放射能漏れが確認されなかった。また、七尾火力発電所が自動停止し、一時、3万5千戸が停電した。

# 道路陥没 街につめ跡



道路陥没した高松市科徳地区大津。3日午前、一部が通行止め



# 県内過去最大の地震



激しい揺れで倒壊した高層ビル（20日午前1時、輪島市門前町）

### 激甚災害指定を検討

県は被災地の被害状況を調査し、激甚災害指定を検討している。



### 301棟全半壊、249人避難

被災地の被害状況を調査し、激甚災害指定を検討している。

## 1人死亡、175人重軽傷

## 能登で震度6強 M6.9

### 北国新聞

### いしくまろ

### 32ページ

# 地震翌日の朝刊

## 3月26日(月)

### 震源情報

能登半島沖(暫定)

M6.9 過去の地震災害

### 震度分布

震度6強は輪島、門前、穴水、七尾

### 被害情報

死傷者、避難者、住家被害等の被害集計結果  
行政の対応

県は災害救助法を適用  
国は激甚災害指定を検討

討.

全32頁(広告・株式欄を含む)の中、震災記事は9頁に及ぶ。

### 就業規則

就業規則の作成・整備  
社会保険労務士  
石川 社会保険労務士  
075-291-5411

### 天使の犬

ちろちゃん  
とべないほたる

### 岩波新書

武田信玄と勝頼  
西田幾多郎  
「悩み」の正体  
メンボミア文明入門  
数学、一歩先へ進めよう  
進歩的のナンにいと  
世界遺産の建築を見よう

# 多くの斜面崩壊や道路被害が 復旧を遅らせる



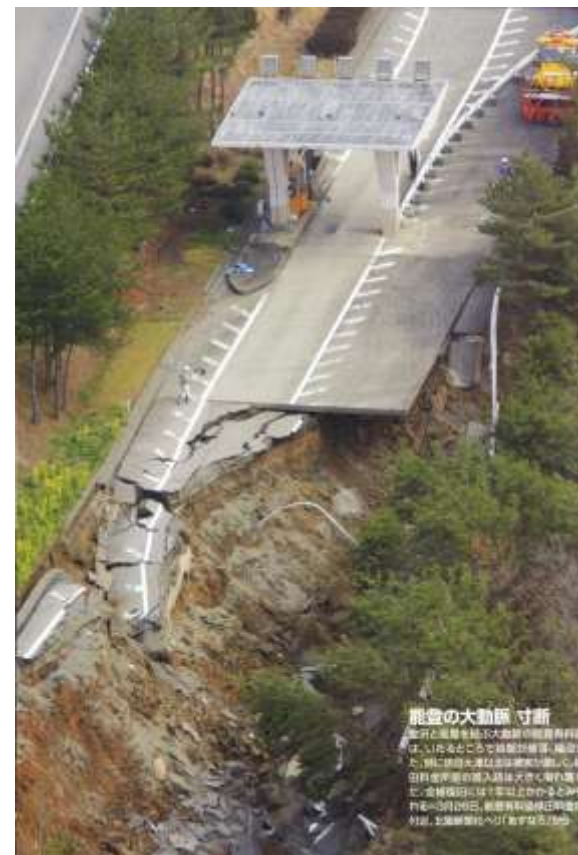
土砂崩れが多発  
強サ利海水害による道路は  
がけ崩れによる土砂崩れ  
が原因で、道路が完全に  
埋もれた。写真は、3月28日、  
北国新聞社特別報道写真集より

## 集落の孤立化



道を阻む巨岩

崖面に落ちた巨岩が道路を完全に遮り、  
復旧に数週間と六郎木の町地区が孤立した。  
3月28日、北国新聞社特別報道写真集より



能登の大動脈 寸断

能登半島の主要幹線道路が、3月28日の地震で寸断された。写真は、3月28日、北国新聞社特別報道写真集より

北国新聞社特別報道写真集より

## 有料道路の長期閉鎖

# 「村を捨てられないが…」

## がけ崩れに無念の避難

### 能登半島地震 門前町深見の10数人

町へ向かう市道が通じるまで「陸の孤島」と呼ばれていた輪島市門前町深見地区。能登半島地震による土砂崩れで、その市道などが完全に寸断されても十数人が集落にとどまり続けた。「村を捨てられない」と地震と向かい合ってきた住民だが、がけ崩れの恐れが強まったため二十七日、全員が避難を始めた。

二十六日午後、林道が沿いの市道と山を越える復旧したばかりの集落に、林道が土砂で埋まり入り、古里への思いを取「陸の孤島」に。水道管が破裂し、電話線も切断。だが、板谷さん「生まれたこの村が好きや」。無職板谷弘さん「ここは笑顔を見せる。日本海に面した小さな漁村。黒い瓦屋根の小さな木造の家が肩を寄せ合うように、三十六世帯約八十人が暮らす。二十五日朝、激しい揺れで海岸

たてるとおびえる。だが、土砂崩れから集落を守ろうと、残った住民で山肌雨水が入らないようブルーシートをかぶせた。「家族のためにもわしらが村を守つて」

二十六日午後、車一台が通れる林道が開通。被災後は海から船を使って食料が援助されており、板谷さんは「林道が開通して陸からもご飯が運べる」とほっとした。息子の和也さん(三〇)も岐阜県関市から駆けつけた。板谷さんは「孫に会えて元気になった。息子もおれの顔を見て安心して帰っていった」と話した。住職の高滝章さん(六〇)は腹をくくった。「母を残して避難はできない。陸路が遮断された時、住民の多くは海路で避難した」

橋脚四本にひび割れなどが見つかると通行止めとなった七尾市の能登島大橋で二十七日、専門家の調査が始まった。県は早期復旧を目指し、調査結果を基に今後の作業計画や工法を検討する。



地震で土砂崩れが起きた現場にたたずむ深見地区の板谷弘さん(27日午前、輪島市門前町)

チームは、国土交通省総合政策研究所や土木研究所、県職員、北浦勝金大教授(土木工学)らで構成された。七尾港湾事務所の監督船に乗った研究員らは、橋脚の破損した部分の位置や規模を確認した。

二十七日午前零時から通行止めとなった能登島大橋では、迂回を余儀なくされ、引き返す車も立った。七尾市中央のとしま臨海公園館に車で通勤する高

母親を置いて自分難はでなかつた。集落で唯一の寺をなげればならない思いもあった。寺の道路に向かつて大

### 専門家チーム、能登島大

#### 橋脚四本にひび割れ



地震による土砂崩れ(奥)で孤立した深見地区。27日午前9時、輪島市門前町で共同通信社へリから

菅義偉総務相は二十七日の閣議後の記者会見で、能登半島地震が発生した直後に、総務省消防庁の簡易型地震被害想定システムが「死者二八」とはじき出したことを明らかにした。菅総務相は「死者二〇という数字で、びっくりするほど当たっていた。瞬時に被害を想定し、ほぼ結果と近かったの

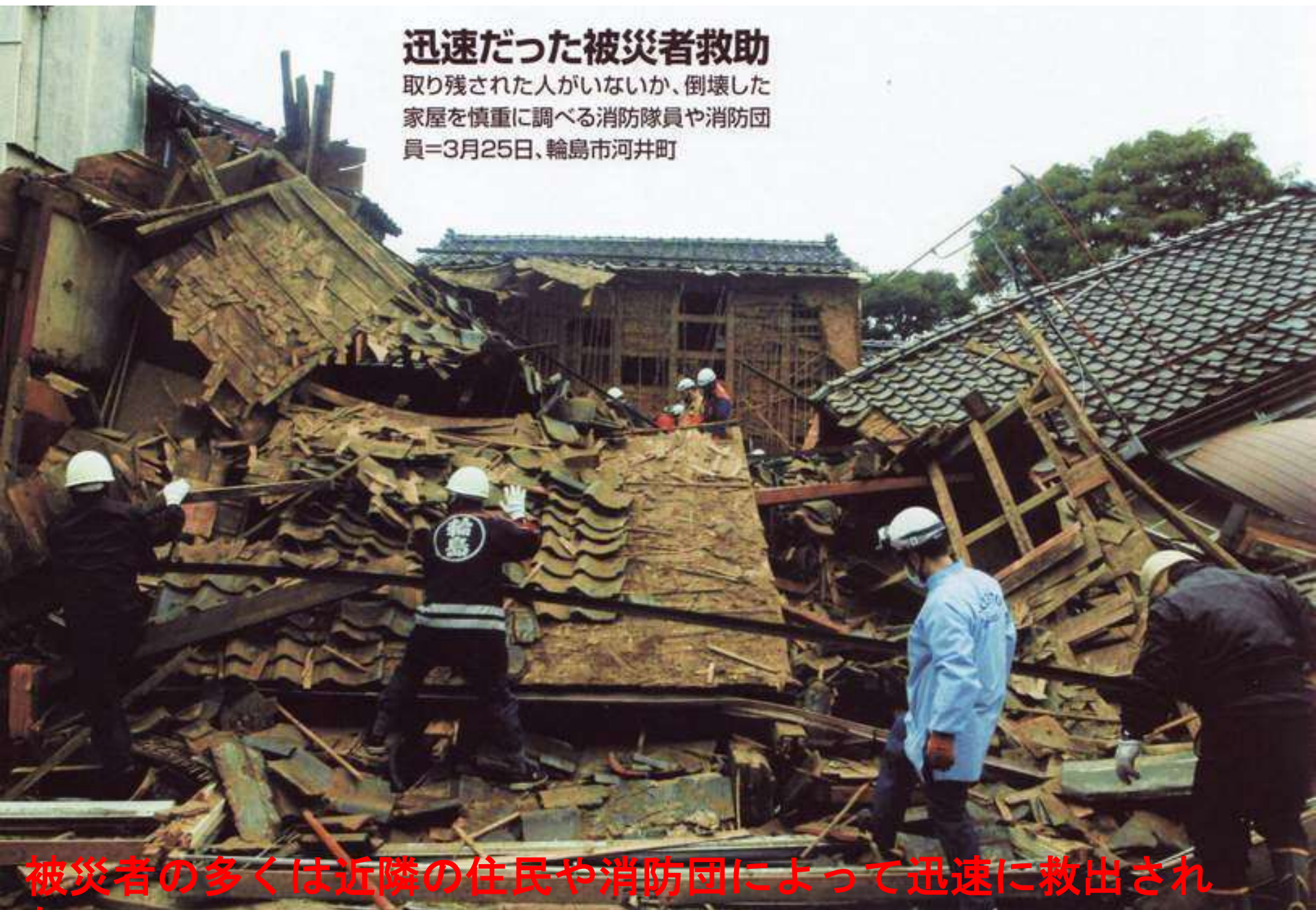
### 被害想定ほぼ的中

簡易型地震予測システム

漁村集落、門前深見地区が孤立。殆どは地震直後に漁船で脱出したが、集落に留まっていた10数人もついに避難 (北国3月27日夕刊)

## 迅速だった被災者救助

取り残された人がいないか、倒壊した家屋を慎重に調べる消防隊員や消防団員＝3月25日、輪島市河井町



被災者の多くは近隣の住民や消防団によって迅速に救出された！

北国新聞社特別報道写真集より

鳥取地震1943や福井地震1948  
を連想させる光景が見られた。

## 軟弱地盤に被害集中

河川の堆積物でできた平野部は地盤が軟弱だったために被害が集中した。家屋が倒壊し、道路には屋根瓦が散乱した＝3月25日、輪島市門前町<sup>（福井）</sup>館



北国新聞社特別報道写真集より